

総合計画外部評価委員会（要点筆記）

令和4年10月4日（火）政策企画部 市長公室

目指す姿1 賑わいが生まれる観光のまち	
委員	DMO 構築については昨年もお尋ねしたと思うが、今年度も達成度は「×」となっている。出来なかった理由が何かあるのか。また、4年間の取組の「観光基盤の強化」が「○」となっている理由を教えてください。
執行部	DMO 構築については他自治体の事例を調査研究してきたが、DMO 構築まではかなりのハードルがある。結果として「×」としたが、本年度も引き続き取組を進めている。 観光基盤の強化では、コロナ禍の中でも様々な分野の代表者と意見を交わし、これからの市の観光の方向性を定める観光振興ビジョンを策定することができた。そのため、観光基盤の強化につながったとして「○」とした。
委員	観光振興ビジョンの策定が基盤強化につながっているのであれば、それに関する記述があっても良いと思う。なお、DMO 構築について参考とされた自治体は何か。
執行部	佐賀県伊万里市と小国町を参考とした。
目指す姿2 未来につながる農業力のあるまち	
委員	「農業の振興」の評価における「農地や森林の整備」において、農業用排水路等の整備により農業生産基盤の強化が図られたとある。確かに整備は進んだと思うが、未だ不十分な地域など、現状を教えてください。
執行部	多くの用排水路等はかなり年数が経っており、水漏れ等が発生している。順次整備を進めており、昨年度は旭志地域と泗水地域を整備している。今後は七城地域の南側を整備する予定である。多額の費用がかかるため、整備にあたっては国や県の補助金等を活用して、出来るだけ地元負担がかからないように進めている。
委員	先日、菊芋・ヤーコン農家の現地視察に伺った。3年前にお会いした時は元気にされていたが、今回お会いした時は体力的に衰えられ、この先農業が続けられるか心配になった。このような中、福岡から日帰りツアーの農業体験ができないかとの話があり、この農業体験が観光は勿論のこと、新規就農や後継者問題等に結び付かないかと感じた。今後どのような取組をしたら良いか、考えを伺いたい。

執行部	高齢者で、1人では農業が出来ない人は集落の中で組織化し、地域で農業を行っている例がある。農業体験については、これから観光分野でも大切だと感じているが、農家の中には収穫体験は良いが、宿泊は対応できないところもある。それを解消するため、宿泊は旅館やホテル等と連携して泊まってもらうなど、体験型の観光を進めている。まずは、体験型観光から新規就農等につながっていけば良いと思う。
委員	農家に多くの外国人が来ているが、市はどのような対応をしているのか。
執行部	外国人労働者は、農家の雇い主が直接雇用しており、市で特別な窓口は設置していない。
委員	外国人をどのように市民の仲間として受け入れるかを考えている自治体もあるが、菊池市はどのような考えか。
執行部	国際交流協会でインターナショナルファンデーを開催し、地元の人と交流するなどの取組を行っている。
委員	有害鳥獣に関して、最近、イノシシなどが頻繁に出没しているような気がする。頭数が増えているのか、又は、駆除する人が減っているのか、現状を伺いたい。
執行部	最近ではイノシシやシカの繁殖力が強くなって頭数が増えている。また、狩猟免許を取る人が減少し、高齢化が進んでいる。さらに狩猟犬などを養う経費がかかるなど負担が増えている。 有害鳥獣を減らすためには、市民の力が必要である。例えば潜み場となる竹林を無くす手だてとして、竹を粉砕する機械を市で購入し、集落へ貸出すことを考えている。また、イノシシの餌となるものを放置しない等、市民全体で考えていくことが重要である。
委員	確かに市民全体で取り組むことが重要であることは理解できる。今後は市民が何を注意すれば良いかなど、市民への情報発信をお願いしたい。
目指す姿3	活力を創出する商工業のまち
委員	菊池には高校を卒業してからの就職先が無いと聞かすが、実際にどのような就職先があるのか。
執行部	本市の企業連は製造業の会社が多いが、実際に高校生が希望するのは事務職が多い傾向にある。今後は TSMC 工場進出により就職の幅も広がってくると思うので、それに対応して進めていきたい。一方、地場企業ではこの TSMC 工場進出により、社員が引き抜かれるのではないかと心配している。そのため、TSMC 工場進出に対応しながら、地場産業を守っていき、県外へ進学しても地元に戻ってこられるような環境を整えていきたい。

委員	現在、菊陽町と熊本市の昼夜人口が同じになっており、技術者の需要が多く、県内の至る所から働きに来ていると聞く。菊池市では、農業分野の取組は十分になされているが、工業分野の取組はあまり無いように感じる。他の自治体では地元の高専生たちにモノづくりの楽しさを教えるなど、興味を引く取組をされている。折角、良い風が吹いているので、若い人達がここに定着して、働けるような仕掛けを検討してほしい。
執行部	今回の TSMC 工場進出に併せて、市長を本部長とした推進本部を設置した。その中に教育人材育成部会があり、工業志向の子ども達の育成について今後検討していく予定である。
委員	県の施設においても県立技術短期大学校が半導体関連の学科を新設するので、このような大学校等に入ってもらい、地元就職するような流れが出来ればと期待する。
執行部	TSMC 工場進出により渋滞が予想され、現地まで熊本市から 1 時間かかるのに対し、本市からは 15 分程度と通勤に関しては非常に良い場所である。そのため、市の方針としては住宅施策に力を入れていきたい。
目指す姿 4 学びを通して人が育つまち	
委員	高校受験に関して、地元の高専になかなか進学する人が少ないと聞く。地元の高専も様々な魅力を発信していると思うが、それに対する市の考えを伺いたい。
執行部	市内には 3 つの高専があり、それぞれ特色のある教育を行っている。現在、3 高専魅力化ということで、中学生に向けた P R する場を設けて活動している。さらに、今年度 3 高専の生徒を対象とした公営の学習塾を開設している。大学への進学率を少しでも上げ、高専の魅力向上につなげたいと考えている。
委員	私の子どもがコロナに感染し、味覚や嗅覚が無いなどの後遺症が 2 カ月ほど続いた。この時に子ども達や保護者等が相談できる窓口が必要と感じたので、配慮をお願いしたい。 3 高専の魅力化に関しては、これまで市内から地元の高専に通うように様々な取組がなされてきたと思う。しかし、その成果が現れていないのであれば、逆の発想で市外から呼び込むことを考えてみてはどうか。例えば、農業体験をした市外の子供達が将来農業をしてみたいと思い、菊池の高専を目指すことも考えられる。少し発想の転換が必要であると感じた。
執行部	今年度学科改編した菊池高専の未来探求コース、地域探求コースは校区がないので、市外からでも入学できる。また、菊池農業高専は学校に寮があり、他の高専には珍しい馬術部があることで県外から

	らの人気も高い。今後 SNS 等を活用した高校の魅力発信も重要であり、3 高校と一緒に取り組んでいきたいと考えている。
委員	<p>菊池市が SDGs 未来都市に選定され、中学校でも地域と連携した様々な取組を展開している。非常に良いことであり、今後の進展を期待している。</p> <p>また、本年度に策定された生涯学習基本計画については内容が充実しているので、市民に是非周知をお願いしたい。また、図書館もすばらしい施設で、活動も多岐に行っているのので、併せて対外的な PR をお願いしたい。</p>
執行部	SDGs の活動は各小中学校で行っており、その実践発表を 11 月のキクロスまつりに併せて実施する。子ども達がどのような視点で SDGs 取り組んでいるのか、見ていただきたい。
委員	以前から生涯学習の推進については、よく工夫され、すばらしいと感じている。一方で、学校教育の分野で毎年課題となっているのが子ども達の学力である。地域性があるのかもしれないが、何か課題等を把握していれば教えてほしい。
執行部	家庭学習の習慣が定着していないことが理由の一つとして挙げられる。まずは、家庭学習の習慣づけを行い、後はそれぞれの学校で教科ごとの弱いところ強いところを分析し、それに応じた対処をしている。
委員	「スポーツの振興」の評価において、大会を誘致して本市の魅力を発信することが出来たとあるが、具体的に教えてほしい。
執行部	具体的には班蛇口湖のボート競技である。日本でも有数のボート競技場で広く知られており、大会誘致や宿泊施設の紹介、そして菊池渓谷と温泉を楽しんでもらうことで菊池の魅力を発信できたと思う。
委員	<p>私は別の競技の役員をしており、今年は夏の九州国体の運営に関わって九州管内から来た選手のお世話をした。しかし、菊池市に泊まる人はほとんどなく、市外のビジネスホテルに泊まれ、観光に結びついていないと実感した。我々も市とタッグを組み、もっと PR する機会があったと思うし、私達の競技だけでも 1,000 人近くが来られるので、今回の状況に役員一同反省をした。</p> <p>観光チラシでも構わないので、市から提供してもらえば協力したい。我々も直接、観光協会等とやり取りができないので、そこのイニシアチブをお願いしたい。本市はとても立派なグラウンドがあるし、施設も充実しているので大会誘致の話を多くいただく。特に学童関係の大会の話が多く、保護者も含め沢山の人が来られる。大会誘致に向けては主管協会も積極的に動くので、お声かけいただきたい。</p>

委員	委員が所属する選手の皆さんは 1 泊くらいで宿泊されるのか。
委員	やはり団体競技なので 1 泊 5~6 千円程度である。折角、菊池に来られるので、観光的な要素を組み込めないかとも思う。
委員	宿泊の情報発信などにも力を入れて、更に市からの宿泊補助等の取組もできれば良いと思う。
委員	是非、そういう取組があれば、情報提供してほしい。
目指す姿 5 魅力ある郷土を大切にすまち	
委員	外国との交流が厳しい状況だが、地域の魅力を知ってもらうため、菊池市に住んでいる外国人と交流を深めてはどうか。
委員	国際交流協会に携わっているが、ここ数年はコロナ禍で外国人との交流活動ができていない。本市では図書館で積極的に取り組みを行っているので、本年度は図書館と菊池女子高校と連携して交流事業を行う。協会の会員と、図書館と関わりのある外国人で菊池市内を散策しようと計画している。菊池溪谷、竜門ダム、鞠智城を巡るツアーを行うことで、交流を深めたい。また、外国の郷土料理をイベント等で提供できるような支援も考えていきたい。
委員	私の姉の職場では、外国人と一緒に料理を作って食べることをしており、交流を通して外国人の心の安心につながっていると感じる。 また、英語や日本語を覚え始めた子ども達が交流できる機会を作るのもおもしろいと思う。折角、縁があって日本に来られているので、菊池を好きになってもらい、菊池を発信してもらったら良いと思う。
委員	在住外国人がイベント等で鎧武者や浴衣姿になると、写真に撮って、自国の家族や学校の友達に送られる。その写真を見た人達は日本に行きたいと言っていると聞く。一方で、多くの外国人が研修生等で日本に来ており、市内のコンビニなどでは外国人従業員が増えている状況で、生活におけるゴミ出しや救急の問題などをサポートしていく必要があると思う。
委員	国内の姉妹友好都市との交流について、以前は青年団などの若い人達の交流が頻繁に行われていたので、そういった若い世代の交流を増やしてほしい。
目指す姿 6 一人ひとりが輝き支え合うまち	
委員	人権相談等が定期的にあっているが、その成果を教えてください。

執行部	<p>行政相談や法律相談を総務課で定期的を実施しており、行政相談員や弁護士が婚姻や相続、人権関係の相談等を受けている。</p> <p>人権啓発・男女共同参画推進課では、偶数月と奇数月で弁護士とカウンセラーの相談を交互に行っており、弁護士の相談は主に離婚による親権や財産の話、カウンセラーの相談は仕事上での心の相談が多い。人権に関する相談は、広い意味でのハラスメントや家庭内での人権問題等が主になる。</p>
委員	<p>審議会等の女性委員の割合が令和2年度に3割に到達しているが、翌年に下がっている。非常にもったいない。これは、行政の中で解決できる問題なので、委員選出までの流れを再構築してほしい。</p>
執行部	<p>現在も委員選任の決裁前に確認する流れをとっているが、団体の長が委員になることが多いため、このような結果になってしまう。関係部署へ団体の長に限らない選考による女性の登用をお願いしているが、未だ浸透していない状況である。</p>
委員	<p>内部調整で結果も変わってくると思うので、工夫して取り組んでほしい。</p>
委員	<p>現在の区長はほとんど男性だと聞いている。女性が区長になれるような体制づくりが必要である。</p>
委員	<p>女性自身の心の持ち方や考え方も変えていく必要がある。両方の問題を解決しながら取り組んでほしい。</p>
目指す姿7	<p>笑顔で健康に暮らせるまち</p>
委員	<p>成年後見センターの利用状況等を教えてほしい。</p>
執行部	<p>成年後見制度の利用促進については、センターをつくる前から障がい者に対しては福祉課で、高齢者へは高齢支援課で対応している。成年後見制度の利用につながったケースは、年度によって異なるが、高齢者は10件前後、障がい者の場合は数件程度になる。センターを設置することで対外へ周知が出来ており、成年後見人を活用する人達は増えているので、今後も需要が高まると予想される。</p>
委員	<p>特定健診の受診率の数値は国保加入者のみと思うが、これを見ても直ぐにわからない。できれば、国保加入者のみである旨、表記方法を検討してほしい。また、健康づくりに対する市の考えを教えてほしい。</p>
執行部	<p>特定健診の受診率は国保加入者のみになるが、健康づくりに関しては社保加入者も対象となるので、連携して取り組む必要があると認識している。アプリを活用した健康づくりなど、若い世代の目が少しずつでも健康に向いてきているので、今後も連携して取り組んでいきたい。</p>

委員	三セクで行っていた移動販売は中止したと聞いているが、今後の中山間地に対する取組など教えてほしい。
執行部	移動販売については健康福祉部が所管することになり、基本的には高齢者の生活支援として実施していく。
委員	<p>昨年も話したが、高齢者福祉の取組で新規申請や更新窓口で詳細な聞き取りを行ったことで、介護認定率の抑制できたとあるが、あまり良い表現ではないと感じる。介護認定をさせないような印象を受けるため、書き方の工夫ができないか。</p> <p>病児保育もコロナが長期化しているから増設を先延ばしたとあるが、コロナだから行かせたいのに、ただ問題を先延ばしたように受けとられる。先程と同じように、市民目線での表現ができないか。</p>
委員	私も会長と同様の意見で、病児保育についてはコロナを理由にはいけないと思う。必要とする人の気持ちを優先してほしい。また、サロンの運営についてもコロナの影響を受けており、更に運営する側の高齢化が進んでいる。これからどのように運営するのか市の考えがあれば、教えてほしい。
執行部	<p>現在、サロンは休止しているところが多く、コロナが落ち着いたら再開する予定である。また、サロン運営者の高齢化はご指摘のとおりであり、地域の核となる人が少なく、苦慮している。このような状況だが、市としても続けていく考えなので、地域との連携を更に密にして取り組んでいきたい。</p> <p>病後児保育については、コロナに感染するのが怖くて預けるのを控える人が多くなっている。そのため、施設の運営ができるのか見定めている状況であってコロナを理由に増設しない訳ではなく、運営側の採算性の問題で先延ばしにしているのが実情である。</p>
目指す姿 8 美しい自然を後世に引継ぐまち	
委員	粗大ごみの出し方について市民からの問い合わせはあっているか。仕事上、高齢者と接することが多く、昔は年に2回収集があっていたと尋ねられたのでお尋ねする。
執行部	以前の旭志村と七城町については、粗大ごみを持ち込む施設がなかったので、そのような対応をしていた。現在は分別方法が変わり、決められた施設へ持っていくことになる。問い合わせの際は、当該施設へ搬入していただくか、もしくはシールを貼って収集業者をお願いする、どちらか方法で対応をお願いしている。
委員	高齢者から持っていく手段がないとの話をよく聞く。我々もできる限りの対応はしているが、十分な対応はできていない。このような話があっていることを知ってほしいと思い、発言した。

委員	熊本市では電話で予約して、シールをコンビニ等で買って貼り、ごみステーションに持っていくと処分できる仕組みになっている。
委員	菊池市も外に出してシールを貼れば処分することができた。しかし、高齢者にとっては運ぶのが難しいので、家の中まで取りに来てくれるとありがたい。
執行部	本市でもシールを貼って予約すれば取りに来るシステムになっている。ただ家の中にもまできると、収集業者では難しい。家の前までは業者が取りに行くので、ご了承ください。
委員	ごみの出し方等についても、今後、外国人への周知や区長との取り決めが必要ではないか。
執行部	ゴミの出し方については、5か国語に対応したチラシを作成している。
委員	畜産バイオマスの利活用は厳しいとの記載があるが、具体的に何が課題となっているのか。
執行部	数年前に集合型を進めていたが、採算が合わず、今は個別型を推進している。しかし、全国に事例が少なく、詳しい聞き取りもできず情報収集が困難である。また、その件について畜産農家からの問い合わせもないことから、前に進みにくい現状である。
委員	畜産に強い菊池市において、環境に配慮して育てているというストーリーがあると、すごく良いと思う。事例が少なく大変と思うが、是非今後も取り組んでいただきたい。
目指す姿9 防災・消防体制の充実	
委員	先月の台風で避難所を途中で増設したと思うが、避難者が予想より多かったのか。
執行部	ご意見のとおり、最初は4箇所開設して、コロナのため収容人数を最大の7割に設定していたが、対応しきれなかったため、新たに避難所の開設を行った。
委員	市民の防災への意識が高まってきたように感じる。避難所について様々なところで出る話題がペットと一緒に避難できないかということ、そのあたりの要望等はないか。
執行部	数件は聞いているが、ペット同伴については個々の認識の違いもあるし、関連団体との協議もあるので、今後検討していきたい。
委員	私の場合はその反対で、息子が重度の犬アレルギーを持っているので、動物がいる避難所は絶対に行けないので、検討する際はそういった人への配慮もお願いしたい。

目指す姿 10 住みやすさを実感できるまち	
委員	「魅力あるまちなか整備」における都市基盤の整備について、建築確認事前審査でコンパクトシティ形成に向けた指導を行ったとあるが、コンパクトシティに向けて具体的にどのようなことができるのか。
執行部	提出された計画を是正することは、現状では難しい状況である。市としては立地適正化計画に基づき、民間業者等と事前協議する中で誘導区域を認識してもらい、次回から居住誘導地域へ目を向けてもらうよう働きかけている。
委員	コンパクトシティについては非常に難しい問題がある。市としてどのように施策に落とし込まれるか興味があったので発言した。
執行部	市としては集約して経費を抑えたい考えがある一方、市民からは住み慣れた地域に住み続けたいとの声もある。賛否両論ある中、制限をかけるばかりでなく、居住誘導区域に移り住むことでメリットを付与するなど、検討していく必要がある。
委員	菊陽町では以前から都市計画と下水道整備に力を入れ、光の森や武蔵ヶ丘周辺の都市基盤整備を続けてきた。グレードの高い住環境が整う事によって人が集まってきているので、これまでの仕掛けが功を奏している。
執行部	ご意見のとおり、都市基盤を集約し魅力ある地域をつくることも検討しなければならないと考える。
委員	水道の整備について七城地域の水質問題等はあるが、それ以外の地域は水も豊かで水質も問題が無い。一概に水道普及率を100%にすることが良いのか、それとも地域性に応じた水道整備を進める方が良いのか、教えてほしい。
執行部	水道の普及率については、給水区域の普及率になるので、七城地域は含まれない。確かに七城地域には水質に課題のある地域があるので、現在、水道加入への意向調査を行っている。ご存じの通り、水道は公営企業であり、加入率が低いと事業継続が困難となるため、意向調査を行ってから整備したいと考えている。
委員	熊本市の植木地区では水質の悪化が問題になっていたが、合併してから上下水道の普及が進み、現在は問題が解消している。菊池市の水道事業について少し気になったので質問した。

目指す姿 11 市民に開かれた健全な行財政運営のまち	
委員	「開かれた市政の推進」における成果指標「癒しの里菊池フェイスブック」の「いいね！」の数とあるが、効果を測る指標としては適当でないと感じる。例えば高齢者のインターネットの利用割合などといった指標はどうか。
執行部	第3次総合計画においては、各種SNSのフォロワー等の数を指標としている。
委員	フェイスブックの「いいね！」の数は、初めは関心を持って「いいね！」を押した人でも、その後、引き続き関心を持っているかは疑問である。
委員	市民の満足度調査などで、市の情報がどれくらい市民に伝わっているかを調査しては如何か。
執行部	検討させていただく。
委員	税の滞納額については、固定資産税と市民税のどちらが多いのか。
執行部	滞納額としては固定資産税が多いが、市民税、軽自動車税、法人市民税の全ての税目で滞納額はある。
委員	コロナ前とコロナ後では、滞納額の増減はあるか。
執行部	令和2年度と令和3年度を比較して、あまり変化はない。令和4年度については未だわからないが、全体の滞納額としては圧縮されている。
委員	本市の収納率は、県内でも優秀な数値なのか。
執行部	14市の中では真ん中あたりに位置しており、決して優秀な数値ではない。
委員	本日の意見を答申書にまとめる作業を行いたいので、全体を通して委員の皆様からご意見を伺いたい。
委員	手続き等で支所を訪れるが、市職員の対応が親切かつ丁寧でありがたいと思う。若い職員の方は自信がないのか少し不安な時もあるが、ベテランの方は聞くこと以上に教えてくれるので、大変助かっている。
委員	全体的な話になるが、今日の話で以前から変わらない取組や事業に関しては、スモールステップでも良いので、前進していけるような変革が必要になると思う。TSMC工場進出のように世の中が大きく変わっているので、先程の話にあった農業もすごく大事だが、農業以外の部分にも注力する必要があると思

	<p>う。また、今朝のミサイルのニュースにあったように、想定外な事象も起きており、今までの防災対応では不十分であると感じた。防災に限らず、全ての分野において、時代に沿った対応が求められる。私達も市民として声を届け、その意見を反映しながら前進していく菊池市であって欲しいと願っている。</p>
委員	<p>改めて、市が努力されていることが判った。もっと SNS 等で職員のがんばりや市の取組を対外へ発信して良いと思う。</p>
委員	<p>新たな取組も大事だが、昔からあるものをどう維持するかも重要である。地域で作られたものが、人手不足のために維持できていないこともある。そうしたことを念頭に置き、新たな取組を始めてほしい。</p>
委員	<p>ここ数年コロナ禍で様々な取組ができない状況が続いている。先程話しがあった TSMC 工場進出について、菊池市がどう動かれるか注目している。このような好機は滅多にないので、先を見据えた取組を進めていってほしい。</p>
委員	<p>今回は実施されなかった事業はなく、一部では大きな成果をあげた事業も見られる。全体的には順調であったと思う。</p> <p>評価方法に関することだが、本日の結果を見るとほとんどが「○」になっている。我々の大学では、60点未満は不可、6割で以上が可、7割で良という評価になる。ここでは「△」が4割から6割となっているが、人によって5割は不可ではないかとの判断もある。手続きの問題にはなるが、「○」の所をもう少し細分化すれば、達成度が見えてくるような気がする。</p> <p>それから、達成度を評価して更に総合評価をしているので、2重に評価する必要があるのか疑問に感じる。全体的な評価が必要なことはわかるが、例えば、健全な子ども達が育っていると感じる人の割合など、総括的な評価がこの冊子には載っていないので、今後はそのような観点を含め、評価方法を検討してほしい。</p>